

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

第5回

津波からの避難とその後の復旧・復興 — 気仙沼の子どもたちを支えたものとは —

(仮題) ※今後変更となる場合があります。

おい かわ ゆき ひこ

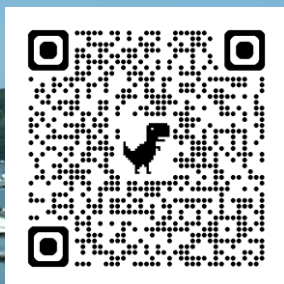
講師：及川 幸彦 先生 博士（地球環境学）
奈良教育大学

学長補佐（特命担当）兼 ESD・SDGsセンター長

令和7年12月25日（木）

13:30～16:45（学校運営協議会円卓会議を含む）

<https://forms.gle/UB4D6n8kmjaSnhdr7>



二次元コードからPC、スマホ
でもお申込みいただけます

場所：鳥羽商工会議所3階
かもめホール（オンライン参加也可）

申し込みは裏面の連絡先、
あるいは左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

ESDの視点から防災・減災、海洋、気候変動などの教育に取り組み、「持続可能な社会の創り手の育成」に向けて、教育の質の向上と教育が果たす役割を研究している。2002年より宮城県気仙沼市を拠点に、地域・大学・国際機関と連携してユネスコスクール加盟やRCE設立などを推進。東日本大震災では学校管理職として危機対応にあたり、教育委員会勤務時にはESDの視点から被災地の教育再生と防災教育改革を主導した。東京大学大学院海洋教育センターを経て、現在は奈良教育大学准教授、ESD・SDGsセンター長として教育研究の質的向上に取り組む。文部科学省・環境省・外務省などのESD関連委員を歴任し、ESD円卓会議議長等として国の施策形成に貢献。2014年からはアクサ・ユネスコ協会減災教育プログラムのコーディネーターとして、全国の教職員を対象に革新的な減災教育の研修プログラムを開発・実施する。認定NPO SEEDS Asia理事。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

南海トラフ巨大地震のリスクに加え、近年は自然災害の激甚化・頻発化や、子どもたちを取り巻く事件・事故の多発など、地域を取り巻くリスクが多様化しています。こうした中で、子どもの安全と安心を守り、そして「ここで暮らし続けたい」という想いをいかに育むか—それは、地域の未来をどう築いていくかという問いでもあります。

第5回目では、東日本大震災において甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市を例に、子どもたちの津波からの避難行動や、被災後における教育現場・地域・行政などの協働による復旧・復興の歩みを学びます。気仙沼の子どもたちを支えた「つながり」や「学びの再生」の過程を通して、学校を核とした地域の再生について考える機会とします。

また、今回は鳥羽市内学校運営協議会の円卓会議（公開）と組み合わせた特別プログラムにて実施いたします。

■プログラム（予定：学校運営協議会円卓会議と合同開催）

第1部

13:00 開場
（オンラインは13:20開場）
13:30 開始・趣旨説明
13:35 鳥羽市教育長ごあいさつ
13:35 専門家によるご講義
14:45 第一部終了

第2部

14:50 夏季研修の報告
15:20 各学校運営協議会
（CS）活動報告
16:00 第2部終了

第3部

16:10 パネルディスカッション：
安心・安全なコミュニティづくりに向けた
学校と地域の役割と協働
16:40 諸連絡
16:45 終了

■場所：鳥羽商工会議所3階 かもめホール＋オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 12月23日（火）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします
右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

＜電話の場合＞

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎⑤ 1 2 6 5 （電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）

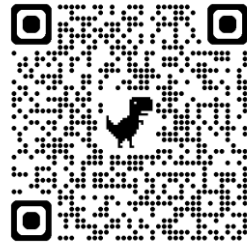
鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎⑤ 1 1 1 8 （電話でお申し込み希望の市民の方）

＜メールの場合＞

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・
スマホでお申込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会

